

講演タイトル：

発酵・醸造による地域貢献と産学連携



講演者：

小林元太

(佐賀大学農学部教授・高校 31 回生 中学 9 回生)

略歴：

1988 年 3 月 九州大学農学部食糧化学工学科 卒業
1990 年 3 月 九州大学大学院農学研究科修士課程 修了
1990 年 4 月 鐘淵化学工業株式会社 入社
1996 年 10 月 九州大学農学部助手
2000 年 9 月 博士（農学）九州大学
2005 年 5 月 佐賀大学有明海総合研究プロジェクト助教授
2008 年 6 月 佐賀大学農学部准教授
2013 年 10 月 佐賀大学農学部教授
2013 年 10 月 佐賀大学学長補佐（教育室）
2017 年 4 月 佐賀大学農学部副学部長
2017 年 10 月 佐賀大学学長補佐（企画・総務室）
2019 年 4 月 佐賀大学農学部長・大学院農学研究科長

概略：

31 回生が幹事を務めた令和 2 年度同窓会定期総会では、私以外にも地域で活動している 31 回生も多いことを踏まえて、テーマを「支える」とし、スローガンを「日本を支える附設愛～丘の上の馬鹿達の現在（いま）」としました。しかし、折からの新型コロナ感染拡大のために総会中止という苦渋の選択をせざるを得ませんでした。そのため、同窓生の皆さまにお話しすることはありませんでしたが、今回の福岡支部回生世話人会にて講演の機会をいただき大変感謝しております。さて、昨今の日本を取り巻く状況は目まぐるしく変化しており、国際化が重要視されていることは言うまでもありません。しかし、そのような状況下においても、地域貢献がないがしろにされているわけでもなく、特に地方大学は地域振興を念頭に地域活性化に資する人材育成が求められています。演者は、九州大学在学中から微生物を利用した発酵・醸造に関する研究に従事しており、企業研究者時代も大学教員となった現在も継続しています。

今回は佐賀大学でのお酒造りを通じた「発酵・醸造による地域貢献と産学連携」についてご紹介したいと思います。